

『もりおかの短歌』夏の部

一般部門 優秀賞十首

こんなにもちい小さき人かひと

啄木のたくぼくマネキン抱いだきて

Vサインするふい

埼玉県飯能市 小宅 初美

啄木の一字一字がたくぼく いちじいちじ

降りしきる五月雨のごと吾ふ さみだれ われに

沁み入るし い

東京都港区 高清水 純

我七歳われななさい

一人遊ひとりあそびに口くちずさむ

父の愛ちち あいせし啄木たくぼくの短歌う た

埼玉県飯能市 小宅 隆

いのち
命よりはるかに長く

ひとびと
人々の心に生きる

たくぼく
啄木の短歌

秋田県湯沢市 佐井 良子

ぶんこぼん
文庫本

リュックにしのはせめぎすのは

いわてひめかみたくぼく
岩手姫神啄木のまち

静岡県藤枝市 井戸端 光代

いわてやますその
岩手山裾野に遊ぶ馬たちの

は
晴れの舞台か

うま
チャグチャグ馬コ

京都府長岡京市 吉田 正美

かぜかお
風薫る好摩の駅舎より仰ぎ見る

たくぼく
啄木焦がれし

ひめかみ
姫神の峰

東京都港区 鈴木 有介

ちちはは せいしゅん まち
父母の青春の街

もりおか めんざんまい
盛岡で麵三味す

こうふくしごく
口福至極

宮城県仙台市 木村 智佑

ちち え かんせい ま
父の絵の完成を待ち

きたかみ かわみ
北上の川見てをれば

ひこうき
飛行機のとぶ

東京都日野市 重信 祥太

がんだい ほくすい いけ
岩大の北水の池

つゆどき はな
梅雨時はスイレンの花

ひときわ 映える

盛岡市 小林 貴史

夏の部（ジュニア部門） 優秀賞

該当なし

【講評】

一般部門

連日の猛暑に辟易した夏の日々でしたが、八月末締切りの「夏の部」の応募数はほぼ平年に並ぶ百二十首でした。中でも石川啄木にちなむ数首は、見るべきを視^み、捉えるべきを捉えて詠われているところに惹かれました。「こんなにも小さき人か啄木のマネキン抱きてVサインする」啄木記念館の等身大の像は意外なほど小柄です。きつと驚く人も多いことでしょう。

令和元年九月選 夏の部

投稿数 百二十 首

選者 松田 久恵